

所管局による一次評価結果報告（東京体育館）

資料4

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
33点	B

標準点 ^{※1}	評価基準 ^{※2}	S	42点以上
31点		A	39点～41点
		B	28点～38点
		C	27点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

特命要件の継続状況
東京2020大会の競技会場となっており、引き続き、大会開催に伴う施設管理への影響が施設等の主要な要素に及び、相当の期間において施設の活用が見込まれない状況にある。

管理状況	適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
	(1) 施設・設備の保守点検	×1	◎	(1) 改修工事による制限がある中、監視体制を強化し、監視・記録を仕様以上に実施していることは評価できる。 (3) 改修工事中であったが、日常清掃を実施した他、10月・11月に開催したイベントへの対応として臨時の清掃を実施している。 (5) 事業計画書に基づく人員配置を行い、必要な資格者を適切に配置している。 (7) R2年度の優先受付については、2020大会後の一般利用再開時期を固めた上での対応となったが、利用希望団体に対して丁寧に情報共有を行い、大過なく対応している。
	(2) プール施設の管理	×1	○	
	(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
	(4) 施設の警備	×1	○	
	(5) 人員配置	×1	○	
	(6) 人材育成の取組	×1	○	
	(7) 施設の提供について	×1	○	
	法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
	個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
	(1) 個人情報保護の取組	×1	○	(1) プライバシーマークを5回更新（10年間継続して更新を実施）。6度目の更新に向けた手続きを進めている。 (5) 個人利用端末にセキュリティ用ICカードを用いた情報管理システムを導入し、厳格な本人認証のもと、個人情報など機密データの保護を徹底している。 (6) 緊急連絡網を整備し、緊急時の円滑な情報伝達を図っている。 (7) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等の発生なし。
	(2) 情報公開の取組	×1	○	
	(3) 環境配慮への取組	×1	○	
	(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○		
(6) 都への報告・連絡	×1	○		
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○		
安全性の確保	配点	評価	評価の内容	
施設の安全性は確保されているか				
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○	(1) 改修工事に対応するとともに、東京都や組織委員会と調整しながら必要な点検・保守を実施している。 (3) 「救急・事故対応カード」を整備するとともに、全職員を対象にした救急対応レク等を実施するなど、緊急時対応における体制整備を図っている。 (4) 施設利用者に重大な影響が出る事故等の発生はなし。	
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○		
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○		
(4) 事故への対応	×1	○		
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容	
適切な財務運営・財産管理が行われているか				
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	(1) 全体として概ね計画どおりの支出実績であり、収入実績も計画を上回っていることから、財務の健全性を維持している。 (3) 物品管理一覧表と現物及び管理番号の照合点検を実施している。また、各施設や諸室に整備された備品等をリスト化し、定期的な点検を実施している。	
(2) 経理処理	×1	○		
(3) 物品の管理	×1	○		
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○		

事業効果	利用状況	配点	評価	評価の内容
	利用促進効果			
	(1) 利用状況	×1	○	(1) 改修工事及び組織委員会によるオーバーレイ工事のため、個人利用施設は閉館中。団体利用は、10月に車いすラグビーワールドチャレンジ、11月に東京2020大会の卓球テストイベント（JA全農 ITTF 卓球ワールドカップ団体戦 2019 TOKYO）のみを実施。
	事業の取組	配点	評価	評価の内容
	事業計画通りのサービスが提供されているか			
	(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(3) 「車いすラグビーワールドチャレンジ」及び「2020大会卓球テストイベント」の際、主催者からの要望に応じ、利用時間の延長対応を行うなど、利用者サービスの向上に向け柔軟に対応している。 (5) 10月の車いすラグビーワールドチャレンジ、11月の東京2020大会卓球テストイベントに際し、意見箱を設置し、指定管理者で共有している。 (7) お客様からの声に関する対応については、フロー図などが盛り込まれた分かりやすいマニュアルによるスタッフ指導のほか、研修などの実施により、着実に対応力の強化とサービスの改善を図っている。 (9) 改修工事については、施工者や工事所管部署と緊密に連携し、運用面の改善と工事後の一般利用も見据えた対応を行っている。また、東京2020大会に向けて、組織委員会によるオーバーレイ工事など、同委員会や東京都と連携して対応している。
	(2) 自主事業の実施状況	×1	○	
	(3) サービス向上に向けた取組	×2	○	
	(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	○	
	(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	○		
(7) 苦情等への対応	×1	○		
(8) 利用促進への取組	×1	○		
(9) その他	×1	◎		

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

所管局による一次評価結果報告（駒沢オリンピック公園総合運動場）

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の保守点検	×1	○	(1) 管制塔、体育館、陸上競技場及び屋内球場の4箇所に設備員が早番・遅番で常駐し担施設を監視している。 (4) 管轄する個別施設を警備するだけでなく、公園全体を一体として警備することで、園内全体の治安維持により事件・事故を未然に防止している。 (7) 土日中心に団体利用希望が重複する中、大会規模や公益性を考慮しながら綿密な調整を行うことにより、より大規模で公益性の高い大会が実施できるような利用者調整を行い、全日本レベルの大会を複数実施した。
(2) プール施設の管理	×1	○	
(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	○	
(6) 人材育成の取組	×1	○	
(7) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	(1) プライバシーマークの更新を継続している。 (3) 電力、水道使用量を、①全体、②施設別に毎月及び年度別にグラフ化し、省エネについて検討している。 (5) セキュリティワイヤーに加え、FSS(個人カード)を挿入しないとPCが立ち上がらず、かつPCもパス管理がされており、3重のセキュリティがかけられている。 (7) 個人情報の漏えい、個人データの紛失事故はない。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保	配点	評価	評価の内容
施設の安全性は確保されているか			
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○	(1) 委託業者も含めた「安全点検パトロール」を定期的及び臨時的に実施し、危険箇所の発見や各施設の補修箇所等を点検することで、安全な施設維持管理に取組んでいる。 (3) 防災訓練について、令和元年度は新たな取組みとして、駒沢オリンピック公園総合運動場の職員だけでなく、消防署に加え、消防団、地元自治会の協力や地域住民参加による深沢地区合同防災訓練に参加・協力し、周辺地域全体の防災対策に寄与した。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	◎	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	(2) 経理処理においては役割分担し、それぞれ確認機能が働くように体制を構築している。また、公認会計士のほか監事、外部監査法人の監査を受けるなどそれぞれのチェック機能が働くように体制を構築している。 (3) 保管管理している物品については、全品写真で記録した上で、現物照合している。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×1	○	(1) 個人利用は、2月末までで過去最高の利用者数を実現した。(トレーニングルームは2/27から休館)利用者が快適に利用できるように利用者の要望等を反映し、施設整備等を行っている。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(1) 幼児・子供から高齢者まで各年齢層を対象に、サッカー、レスリング、テニスなど、多様な種目を工夫しながら実施している。また、レクリエーション団体と連携しながら、各年齢層を対象とするレクリエーションを活用した多様な事業を実施している。 (6) 利用者アンケート結果において、総合的な満足度(十分満足+まあ満足)は95.3%。 (7) ご意見箱等で得た苦情・要望については、サービス向上と公益性を勘案し、速やかに対応するよう努めている。また、管理職が情報共有し、対応できるものについては速やかに対応し、課長会等で対応結果等を報告している。 (9) 工事に際して、都、施工業者、公園管理者、競技団体等と密接に連携し、近隣住民からの苦情対応(騒音)や、観客席の席数や人工芝の仕様選定にあたっては利用団体の要望にできる限り添えるように調整を実施。硬式野球場の増築・改修工事については、限られた短期間の中で物品搬入やカーテン取り付け、設備点検や操作方法の確認など、休みなしで対応した。
(2) 自主事業の実施状況	×1	○	
(3) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	○	
(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	◎	
(7) 苦情等への対応	×1	○	
(8) 利用促進への取組	×1	○	
(9) その他	×1	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
36点	B

標準点 ^{※1}
33点

評価基準 ^{※2}	S	44点以上
	A	42点・43点
	B	30点～41点
	C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

所管局による一次評価結果報告（東京武道館）

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の保守点検	×1	○	(1) 中央監視装置により各設備の監視、照明制御装置により照明設備の監視、ITV設備により館内施設の監視を、事務室・中央監視室・警備員室で常に行っている。 (3) 館内清掃はスタッフが9エリアに配置し、使用前後の清掃作業を実施。シャワー室内のカビ取りや畳の除菌清掃を適宜実施。外周清掃は掃き掃除・ゴミ拾いの他、除草・枯木処理等も適宜実施。 (6) 総合受付にiPad及び多言語翻訳機を配備し、日本語を話せない来館者にも対応できるようにしている。また、耳マークを設置し、筆談での会話が行える体制を整えている。 (7) R2年度の優先受付は、東京2020大会の練習会場使用期間がある中での利用調整であったが、申込団体と粘り強く調整し、一つでも多くの質の高い大会等が開催できるように利用調整を図った。
(2) プール施設の管理	×1	○	
(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	○	
(6) 人材育成の取組	×1	○	
(7) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	(1) 個人情報の保護にあたっては、書庫等の施錠の徹底を図り、安全性を高めている。 (3) 大武道場のLED等はH30年度更新。現状LEDでない電球は、交換の際にLED電球に順次付け替えている。 (5) FSS（ファイルセキュリティシステム）を導入し、退庁時にはセキュリティカードを抜き、施錠可能な場所等に保管するなど、盗難防止策を講じている。 (7) 個人情報の漏えい等に関する事故は特段認められない。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保	配点	評価	評価の内容
施設の安全性は確保されているか			
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○	(1) 中央監視装置が古い機種であることから、遠隔操作ができなくなる不具合が発生したが、スタッフが現場操作をその都度迅速に行い、運営に支障をきたさないように対応した。 (4) 6月に巻き藁練習場にて、利用者が床板から出た釘で足を負傷。暫定対応としてマットを敷き床養生を施した。なお、老朽化が進んでおり、今後同様の事故が発生する恐れがあることから、2月に現場の床板の交換工事を都施工にて実施。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	(1) 事業ごとの科目を設定した経理を行い、毎月、監査法人による確認を受けるなど、チェック体制を構築している。 (3) 保全物品整理簿により、年1回物品照合を実施している。団体との事前打合せ後及び使用後に、品目・数量・不具合の有無等の確認をしている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×1	◎	(1) （新型コロナウイルスの影響があった月を除く）個人利用では、トレーニングルームの早朝開館を行った5・6月を含め利用者数が伸びており、団体利用でも引き続き高い稼働率を維持している。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(1) 館配置の武道師範及び各武道の高段者など、優れた指導者を講師に招聘し、各種武道の稽古、講習会を展開している。また、障害者スポーツの理解や普及を図る講習会を実施し、障害者スポーツ振興を図っている。 (3) 開館時間の延長や直前割引制度などのサービス向上への取組みを実施している。 (4) 第4四半期に、老朽化した駐車場精算機やコインロッカーを更新。 (6) 利用者アンケート結果において、総合的な満足度（十分満足＋まあ満足）は95.9%。 (8) トレーニングルームでは、今年度東京武道館ティップネスのHPを新設した。また、独自のTwitterにより利用状況を毎時発信するなど、利用者の確保に取組んでいる。
(2) 自主事業の実施状況	×1	○	
(3) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	○	
(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	◎	
(7) 苦情等への対応	×1	○	
(8) 利用促進への取組	×1	○	
(9) その他	×1	○	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
34点	B

標準点※1	評価基準※2	S	43点以上
32点		A	40点～42点
		B	29点～39点
		C	28点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

特命要件の継続状況
東京2020大会の練習会場となっており、引き続き、大会開催に伴う施設管理への影響が施設等の主要な要素に及び、相当の期間において施設の活用が見込まれない状況にある。

所管局による一次評価結果報告（東京辰巳国際水泳場）

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の保守点検	×1	○	(2) 中央監視システムにより随時、室温・水温・遊離残留塩素濃度が保持されているかチェックを行っている。また、ライフガード部門では毎時、水温・PH値・遊離残留塩素濃度の水質検査を行い、結果を白板に表示・利用者に周知している。また、異常があれば設備担当に連絡し、水質の保持に努めている。 (6) 毎年、5月と11月に何種類かの研修を実施しているが、R1年度は、オリンピック・パラリンピックの東京開催を踏まえ、接遇研修に「障害者対応」「英会話」を取り入れた。さらに、この期間を有効活用し、東京都障害者スポーツセンターの施設見学も実施し、有意義な研修内容とした。 (7) 管理運営基準に従い優先受付を行うために「優先受付選定委員会」を設置し、公の施設として厳正かつ公平に利用調整を図っている。
(2) プール施設の管理	×1	○	
(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	○	
(6) 人材育成の取組	×1	○	
(7) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	(1) 指定管理者代表者が定めた「公益財団法人東京都スポーツ文化事業団個人情報保護方針」等により、個人情報の取扱いに遺漏がないよう、当水泳場においてもその方針と整合性を図り、適正な管理を行っている。 (3) きめ細かな節電に努めている。なお、アリーナ照明は、通年で2割削減を継続実施している。特に、夏は電力不足に備え、冷凍機の運転台数を可能な限り1台としている。 (6) 水泳場として「緊急連絡網」を作成し、職員に周知徹底している。 (7) これまで当水泳場での個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等の発生はない。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保	配点	評価	評価の内容
施設の安全性は確保されているか			
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○	(1) 毎日のミーティングにより各設備機械の異常情報の共有化を図っている。さらに、責任者会議終了後を基本とし、「安全点検パトロール」を毎月行っている。 (3) 危機管理マニュアルを策定し、事故や怪我、病気等に際し、素早く対応できるようにするとともに、予想される首都直下型地震にも備え、常に危機意識を持って行動している。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	(1) 館全体の財務状況については、四半期毎に各社の執行状況について情報共有を図り、状況に応じた執行計画を実施している。 (3) 物品の照合については、物品管理者別物品一覧表で年1回チェックしている。物品の廃棄等の手続きについては、速やかに行っている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×1	○	(1) 個人利用者数は、休館がなかったH29年度と比較しても増加している。団体利用稼働率は、メインプール・サブプールで95%を超えた前年度と比べ、R1年度はメインプール91.5%、サブプール86.6%にとどまっている。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(1) 「東京辰巳国際水泳場杯(競泳・フィン競技)」は参加者が年々増えており、実績収支も他の自主事業と比較してもかなり良好である。 (3) タイム計測システムや映像装置など既存の設備を効果的に活用した事業の実施などに取組んでいる。 (6) 利用者アンケート結果において、総合的な満足度(十分満足+まあ満足)は94.9%。 (7) 「私の一言」等の利用者の要望等は、指定管理者が、実施可能なものは原則として即座に対応している。また、利用者からの一方通行ではなく、必ず回答し、利用者へフィードバックを行っている。 (9) 大規模改修工事において、視察対応や工事施工に当たっての施設運営面での協力など、工事関係者や運営者と密接に連携している。アスベスト工事に関する迅速な対応に加え、利用者への丁寧な説明を通じ安全安心な施設利用を実現させる等、突発的な事項にも適切に対応した。
(2) 自主事業の実施状況	×1	○	
(3) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	○	
(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	◎	
(7) 苦情等への対応	×1	○	
(8) 利用促進への取組	×1	○	
(9) その他	×1	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
36点	B

標準点※1
34点

評価基準※2	S	46点以上
	A	43点～45点
	B	30点～42点
	C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

特命要件の継続状況
東京2020大会の競技会場となっており、引き続き、大会開催に伴う施設管理への影響が施設等の主要な要素に及び、相当の期間において施設の活用が見込まれない状況にある。

所管局による一次評価結果報告（有明テニスの森公園テニス施設）

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の保守点検	×1	○	(3) 日常清掃・定期清掃・害虫駆除等の維持保全業務において、東京都の仕様を上回る頻度で事業計画を策定し、実施している。 (4) 定期巡回における園路での素振り注意、不審者や事件・事故等の確認から、夕刻時におけるコロシアムの施設や周辺の不正利用の確認まで、施設の保安業務全般を毎日実施した。 (6) 社内の研修計画に基づき研修を実施。研修内容を多くのスタッフで共有できるよう、職場研修も実施。 (7) 大規模改修後限られた期間で施設再開の準備を行い、継続中の工事と調整しながら施設の貸出を実施した。
(2) プール施設の管理	×1	○	
(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	○	
(6) 人材育成の取組	×1	○	
(7) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	(1) 情報セキュリティの研修として全社員皆でeラーニングを導入。マイナンバー漏洩リスクについては、マイナンバー事務取扱者に対して個別に説明を行うなど、事故防止に向けた取組を積極的に行っている。 (3) 大規模改修が終了し、施設の照明設備がLED化されるなど、節電・節水等の環境へ配慮した仕様の設備を活用している。 (7) 個人情報の漏えい、個人データ紛失事故の発生なし。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保	配点	評価	評価の内容
施設の安全性は確保されているか			
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○	(1) 施設の維持管理にあたっては、予防管理の考え方によるパークメンテナンス方式を取り入れ、維持管理ガイドラインに基づき管理を行っている。 (4) プレー中の怪我や事故は、全スタッフ上級救命技能認定の有資格者であり、AEDや担架、車いすなどを使用して応急措置を行い、必要に応じ救急車を要請する。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	(2) 主管課及び経理課において相互確認や月次確認を行い、内部・外部の監査を受けるなど適切な経理処理を行っている。 (3) 東京都備品台帳を基に管理を行うとともに、独自に物品の写真を貼付した台帳も整備し、物品の照合を行っている。 定期的に自己点検を行い、破損箇所については、修復を行って使用している。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×1	○	(1) 利用率は直近で夜間も含めて営業していたH29年度と同水準。有明コロシアムの団体利用率も、直近で閉館していたH29年度と概ね同水準。ショーコートは新規施設だが、有明コロシアムと概ね同水準。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(1) 子供向け・ファミリー向けから体力に自信のないシニア層まで、多様な層を対象としたプログラムを企画している。 (3) 施設の再開に合わせて、競技用備品・仕器を更新し、利用者サービスを向上させている。利用案内サインについても、施設再開時の利用者の意見や動きを踏まえ、都工事で設置されたものに加えて、追加のサインを設置している。 (6) 利用者アンケート結果において、総合的な満足度（十分満足＋まあ満足）は94.6%。 (9) 屋外コートやインドアコートの工事が継続する変動的な状況の中、新規施設であるショーコート・クラブハウスを含め、限られた期間で施設再開を準備し、9月下旬の楽天オープンや10月末のテストイベントの円滑な開催に繋げた。施設再開後も、不具合箇所を速やかに報告し、都や施工者と協議しながら対応している。また、2020大会に向けて、組織委員会によるオーバーレイ工事など都と連携して対応している。
(2) 自主事業の実施状況	×1	○	
(3) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	○	
(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	◎	
(7) 苦情等への対応	×1	○	
(8) 利用促進への取組	×1	○	
(9) その他	×1	◎	

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
35点	B

標準点 ^{※1}	評価基準 ^{※2}	S	44点以上
33点		A	42点・43点
		B	30点～41点
		C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

特命要件の継続状況
東京2020大会の競技会場となっており、引き続き、大会開催に伴う施設管理への影響が施設等の主要な要素に及び、相当の期間において施設の活用が見込まれない状況にある。

所管局による一次評価結果報告（若洲海浜公園ヨット訓練所）

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の保守点検	×1	○	(3) 日常清掃については、利用者の多い教室開催日の土曜・日曜・祝日を対象に実施するとともに、平日については、社員が巡回時にゴミ拾い清掃などの簡易清掃を行い、液体石鹸やトイレトーパー等の補充を行った。 (4) 職員が日常巡回警備を行い、不審者や事件・事故等の確認を実施した。 (6) 社内の研修計画に基づき研修を実施した。研修内容をスタッフ内で共有できるよう、情報の共有に努めた。 2020大会へ向けたユニバーサルマナー研修なども実施。 (7) ヨット教室実施日以外の日程について、東京都ヨット連盟等と大会日程の調整を行っている。
(2) プール施設の管理			
(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	○	
(6) 人材育成の取組	×1	○	
(7) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	(1) R1年度より新たにメール送信セキュリティシステムを導入し、情報漏えい防止に努めている。（外部へメールを送信する際、サーバー内に一度保管され、送信者が再度確認した後に送信される仕組み） (3) 省エネルギーへの取組については、エアコンの温度調整のほか、貼紙により節電や節水への協力を呼びかけた。緑地維持で発生した剪定枝を堆肥やコンパネ材として再利用し、廃棄物については分別処分を適切に実施した。 (6) 有事の際には、夜間休日問わず、東京都及び社内の緊急連絡網により迅速な報告を行う体制をとっている。また、緊急連絡網や報告様式については、社員間で情報共有を行っている。 (7) 個人情報の漏えい等に関する事故は特段認められない。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保	配点	評価	評価の内容
施設の安全性は確保されているか			
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○	(1) 設備機器の故障・不具合発生時には、その旨や休止期間等を利用者に対して見える化するのと同時に、速やかな復旧にむけて工事業者等との調整を行っている。 (3) 若洲地区防災訓練、東京港埠頭株の防災訓練、東京都総合防災部情報伝達訓練など、実践的な訓練を実施。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	(1) 台風で折れたボールの修繕、艇の廃棄等、イレギュラーな費用が発生しているが、年度を通して適切な財務状況を維持している。 (3) 東京都物品管理者別物品一覧表を基に物品を定期的に照合し、自己点検を行っている。スナイプ級ヨットの老朽化によって、H29年度から毎年2～3艇の入れ替えを計画。R1年度は3艇購入済。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×1	○	(1) ヨット教室の利用者は1,132人で、前年度から3人減となった。利用が増える3月が新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年対比で37名減(H31:44名、H30:81名)となったことが大きい。ヨット教室以外の全利用者も、通年では利用者減となっている。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(1) 事業計画に基づき、「若洲ヨット祭り」「1DAY無料体験」「マンスリーレガッタ」「障がい者体験乗船会」「東京港レガッタ」等を適切に実施した。 (3) HPIに英・中（簡体・繁体）の案内があるほか、大会時に多言語対応スタッフを配置。 (4) 大会時の臨時駐車場利用にあたっては、参加者の要望もあり、通常の営業時間の8時30分より1時間程度繰り上げてオープンした他、閉門時間についても利用者の状況に応じて延長対応等も行った。 (5) ヨット教室利用者から、「教室終了時シャワーを浴びた際、シャンプー・石鹸を忘れて困った」ということがアンケートに記載されていたため、シャワー室入口に「シャンプーが入用のお客様はお声をおかけください」という案内看板を設置した。 (9) 東京2020大会に関連し、セーリング会場となる江の島ヨットハーバーのヨットを円滑に受け入れたほか、組織委、若洲海浜公園と協力して公式練習会場の準備を行っている。また、海上保安庁による監視カメラ設置要望への対応なども円滑に行っている。
(2) 自主事業の実施状況	×1	○	
(3) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	○	
(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	◎	
(7) 苦情等への対応	×1	○	
(8) 利用促進への取組	×1	○	
(9) その他	×1	○	

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
34点	B

標準点 ※1	評価基準 ※2	S	44点以上
33点		A	42点・43点
		B	30点～41点
		C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

特命要件の継続状況
東京2020大会の練習会場となっており、引き続き、大会開催に伴う施設管理への影響が施設等の主要な要素に及び、相当の期間において施設の活用が見込まれない状況にある。

所管局による一次評価結果報告（武蔵野の森総合スポーツプラザ）

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の保守点検	×1	○	(1) 毎日1回の日常巡回点検を実施しており、また、事業計画に基づき月次点検も実施している。 (3) H30年度の実績をふまえ、日常清掃工程表を見直し、計画通り実施している。そのため、H30年度より余裕をもって作業ができています。 (6) 職員研修計画に基づき、施設に関する基本的事項やコンプライアンス等、施設の管理運営や利用者対応に必要な事項に関する研修を実施している。 (7) 令和2年度の優先予約については、東京2020大会のため通常営業の期間が短く、非常に難しい調整であった。都とも適宜協議をしながら柔軟に調整し、優先予約を適切に実施した。
(2) プール施設の管理	×1	○	
(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	○	
(6) 人材育成の取組	×1	○	
(7) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	(1) 個人情報保護規程及びマニュアルを全職員に研修の機会を通じて周知するとともに、ファイルを所定の場所に設置し職員の閲覧が可能な状態にしている。 (3) エネルギー管理体制を構築し、月に1度の全体会議時にエネルギー使用状況を報告、職員への省エネルギーに関する意識改革等を実施した結果、3月末時点で電気ガスの原油換算値で前年を1.1%下回っており省エネルギーへ取り組んでいる。 (5) 業務に使用するPCにはセキュリティワイヤーを設置するとともに、起動時にパスワードを設定している。また、専門事業者による不正アクセス対策やウイルス対策も実行している。 (7) 個人情報の漏えい等に関する事故は特段認められない。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保	配点	評価	評価の内容
施設の安全性は確保されているか			
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○	(1) 保守点検で発見された故障については、保守点検作業内で修繕できる物に関しては、即時修繕を実施している。また、費用のかかる修繕に関しては、見積もりを取り確認してから修繕を実施している。 (3) 地震・火災等の災害については、対応フローチャートを作成し、事務所内に常に掲示している。救急要請の際、イベントの状況で救急車の進入口が変わるため、イベント担当者との連絡を密にして対応を行う。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	(3) 利用後に担当が確認を行っている。不具合があればすぐに業者を手配するなどの体制を整えている。 また、バスケットゴール等の大型備品については、保守点検の契約を行っている。 RWC2019開催時に備品の移動があったが、開催前に該当の備品の位置や個数の確認を行った。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×1	○	(1) RWC2019等に伴い営業日数が少なかったが、2月末までの利用状況をH30年度と比較すると、個人利用者数・団体利用稼働率は上昇している。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(2) 概ね事業計画に沿った事業を実施しているが、一部のメニューは利用者のニーズに合わせて見直しを行った。 都度利用に加え、月会員(7,000円)を設定し、利用者の増加を図っている。また、利用者からの声を反映し、一部メニューの見直しを行っている。 (3) 館内案内等は日本語・英語・中国語・ハンゲルで表記がされている。また、国際大会時には海外からの来場者もいるため、翻訳機(ポケトーク)を購入し活用している。 (4) 駐車場については、イベント時でも必ずジム・プール利用者の場所を確保し、適切な利用に努めている。 (5) 施設全体での会議を月1回、東京スタジアム内でのミーティングを2週間に1回程度開催し、情報共有と対応策の検討を行っている。それ以外にも担当部署ごとに適宜ミーティングを実施している。 (6) 利用者アンケート結果において、総合的な満足度(十分満足+まあ満足)は98.5%。
(2) 自主事業の実施状況	×1	○	
(3) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	○	
(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	◎	
(7) 苦情等への対応	×1	○	
(8) 利用促進への取組	×1	○	
(9) その他	×1	○	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
34点	B

標準点 ^{※1}
33点

評価基準 ^{※2}	S	44点以上
	A	42点・43点
	B	30点～41点
	C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

特命要件の継続状況
東京2020大会の競技会場となっており、引き続き、大会開催に伴う施設管理への影響が施設等の主要な要素に及び、相当の期間において施設の活用が見込まれない状況にある。

所管局による一次評価結果報告（東京都障害者総合スポーツセンター）

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の保守点検	×1	○	(1) 常勤の機械管理スタッフが中央管理システムにより常に監視しており、設備に異常があるとアラームが発報し、確認できる。 (2) プール機械設備である塩素注入機、ろ過装置（可逆式珪藻土ろ過装置）、熱交換器、温水配管等も定期的に点検清掃し、常に良好な状態を保ち運転している。 (5) 障がい者スポーツ指導員（初級・中級・上級）及び健康運動指導士、介護予防運動指導員等の有資格者を配置している。センター運営に必要な資格取得に際して当協会の職員資格取得助成制度を活用している。 (6) 職員全員が、利用者の方に対して「目配り」「気配り」「声掛け」を、日常的に行うことができるように、職員ミーティング等の様々な機会を確認している。
(2) プール施設の管理	×1	○	
(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	○	
(6) 人材育成の取組	×1	○	
(7) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	(1) 業務上多くの個人情報を扱っているため、採用時に職員はもとより実習生やボランティア、委託業者等、利用者に関わるすべての関係者に研修を行っている。データベースにある個人情報は、漏えい防止のためアクセス管理により厳重な管理を講じている。またペーパーベースの個人情報は鍵のかかる保管庫で管理している。廃棄時は廃棄物専門業者による溶解処理など、復元不可能な状態にして処分している。 (3) 大規模改修工事の際、館内をすべてLED化。 (7) 個人情報の漏えい等に関する事故は特段認められない。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保	配点	評価	評価の内容
施設の安全性は確保されているか			
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○	(1) 利用者に安全かつ快適なサービスが提供できるよう、良好な環境を保持するため、施設・附属設備の維持管理については、予防保全を原則とした点検・管理を実施している。 (3) 3年更新となっている防火優良認定を継続して取得している。H18年度より継続して救命講習受講優良認定を受けている。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	(2) 経理処理のチェック体制については協会の財務会計規程に基づき明確な責任者体制のもと適正に処理している。また、けん制機能として税理士の内部監査及び日常的に指導を受けられる体制整備を行っている。 (3) 保全物品・購入物品・取得物品に区分した物品一覧表等を備え、常に数量・使用場所・使用状況等の把握をしている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×1	◎	(1) 第3四半期までの利用者数は、H30年度の同期分と比較して、1日平均117人増となっている。7月の屋外施設オープンやH30年7月に増設した施設、閉館日数を考慮しても1万人以上増加している。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	◎	(1) 日常的に各施設にスポーツスタッフ等を配置して、障害の種類・程度、利用目的、年齢、運動経験等を踏まえ専門性を生かした細やかな利用者支援を心掛けているとともに、スポーツ事業（各種相談事業、教室・大会・講習会等）とも運動していくことにより、利用者が、スポーツの継続化、生活化（日常化）していくことができるように努めている。また、障害者だけでなく健常者との交流事業の1教室あたりの参加者数が向上している。 (3) 改修工事にて新設されたデジタルサイネージを活用するほか、新設された屋外掲示板に地域住民の方々も参加できる教室の周知などを実施している。館内の案内表示ポスターについては、利用者の方に分かりづらい部分などを聞き取り、要望を反映し、作成している。 (6) 利用者アンケート結果において、総合的な満足度（十分満足＋まあ満足）は96.3%。 (7) 利用者の声調整委員会を設置し、定期的に委員会を開催している。また、委員には信憑性と解決能力を高めるために、法律、福祉、障害者スポーツに関係する有識者や専門家を活用している。 (9) 大規模改修工事期間中、東京都や工事業者と円滑に調整を進めるとともに、利用者への周知等を的確に行うことで、部分閉館をスムーズに実施することができた。
(2) 自主事業の実施状況	×1	○	
(3) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	○	
(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	◎	
(7) 苦情等への対応	×1	◎	
(8) 利用促進への取組	×1	○	
(9) その他	×1	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
39点	B

標準点※1	評価基準※2	S	44点以上
33点		A	42点・43点
		B	30点～41点
		C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

特命要件の継続状況
団体のノウハウを活用して、個々の利用者ニーズに的確に応え、きめ細かいサービスを提供している。また、都の障害者スポーツ施策に対して適切な助言を行うとともに、大規模改修工事に的確に対応している。

所管局による一次評価結果報告（東京都多摩障害者スポーツセンター）

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の保守点検	×1	○	(1) 日常及び定期点検ともに、委託業者がきめ細かく点検・保守を行っており、事故等があれば迅速に対応している。 (3) 建物及び敷地ともに細みな清掃を励行している。汚水等が詰まった時など問題が発生した場合、他の利用者に迷惑にならないよう迅速に対応している。 (4) 体育施設責任者が1日2回以上の現場巡回を行っている他、管理責任者が1日2回以上全体の巡回を行って、保安に努めている。 (5) 基本的に各施設正規職員、契約職員1人は必ず配置している。プールは正規職員1名、契約職員又はパート職員2名を配置している。トレーニング室は常勤職員1名以上を配置し、技術指導等、利用者の障害特性に合わせた支援を行っている。また、1時間ごとに看護師が巡回を行っている。
(2) プール施設の管理	×1	○	
(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	○	
(6) 人材育成の取組	×1	○	
(7) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	(1) 新規職員へ個別研修を行うほか、全職員を対象に年1回実施している。 今年度よりメール誤送信防止システムを導入。（送信先に関わらず、一度「確認」の画面でチェックする仕組み） (3) 改修後の施設において全館LED照明が設置され、太陽光発電が導入された。 (5) PC管理台帳を作成するとともに情報セキュリティ実施基準を遵守している。また、職員によるアクセス権の一部を制御している。ウイルスバスターによるウイルス等の対策を講じている。また、サーバについては業者へ委託し保管している。 (7) 個人情報の漏えい等に関する事故は特段認められない。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保	配点	評価	評価の内容
施設の安全性は確保されているか			
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○	(1) 改修により、施設全般の仕様について見直しを図った。 改修後間もない施設のため、工事業者と連携し、適切な故障・不具合の対応を図った。 (4) 樹木の枝折れにより駐車中の利用者車両が損傷。保険で対応。人的被害なし。 直ちに樹木の剪定を行い、枝折れ等への安全対策を図った。また、当該情報を本局および他センターに情報の共有を図った。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	(3) 物品取扱責任者を設置し、保全物品・購入物品・取得物品に区分した物品一覧表を備え、毎年3月末に棚卸を実施している。 体育施設物品については、安全性を確保するために、年1回メンテナンスを実施している。また、移転の際にもメンテナンスを実施している。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×1	○	(1) 改修移転でプール等の施設がなくなり利用者数は減少したが、国立再移転後、増加に転じている。11月には2年前とほぼ同水準に回復。その後も変化はあるが、漸増している。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(1) 武蔵野の森総合スポーツプラザに職員を派遣して利用者の利用促進に努めた。 (3) 競技アスリート個人の練習場所の確保・競技力向上を目的に、第3トレーニング室を設けて利用促進のための周知を行った。 (4) イベント開催時の駐車場は満車状態になることが多いため誘導等を行うとともに、事前に申込書や館内放送、掲示にて公共交通機関の利用を周知している。 (6) 利用者アンケート結果において、総合的な満足度(十分満足+まあ満足)は96.7%。 (7) 投書により苦情があった場合は、回答文書を掲示して、その後、利用者の声調整委員会で報告して、回答内容について評価及び意見等を聴取している。調整委員会の委員には信憑性と解決能力を高めるために、法律、福祉、障害者スポーツに關係する有識者や専門家を活用している。 (9) 月1度の定例会をはじめ、移転先・取引業者等との連絡調整、必要物品等の調達及び仮設運営条件の整備を行った。 大規模改修後に利用者ニーズに沿った細やかな改善点について積極的に対応した。
(2) 自主事業の実施状況	×1	○	
(3) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	○	
(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	◎	
(7) 苦情等への対応	×1	◎	
(8) 利用促進への取組	×1	○	
(9) その他	×1	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
36点	B

標準点※1
33点

評価基準※2	S	44点以上
	A	42点・43点
	B	30点～41点
	C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

特命要件の継続状況
団体のノウハウを活用して、個々の利用者ニーズに的確に応え、きめ細かいサービスを提供している。また、都の障害者スポーツ施策に対して適切な助言を行うとともに、大規模改修工事に的確に対応している。